

日本工学教育協会第 71 回年次大会 参加報告

技術第 2 班 一条 洋和

1. はじめに

令和 5 年 9 月 6 日(水)から 9 月 8 日(金)にかけて広島大学東広島キャンパスで行われた、日本工学教育協会第 71 回年次大会に参加した。対面形式で開催されたが録画登壇が可能であったため、発表動画をアップロードすることによって参加した。173 件の発表(うち録画 34 件)が行われた。

2. 日程

<録画発表視聴期間>

8 月 30 日(水)~9 月 15 日(金)

工学教育研究講演会 VI (録画)

<オンライン参加プログラム>

9 月 7 日(木)

10:45-12:00 教育力向上セッション

「総合知：イノベーションを担う人材育成」

3. 各日程の詳細

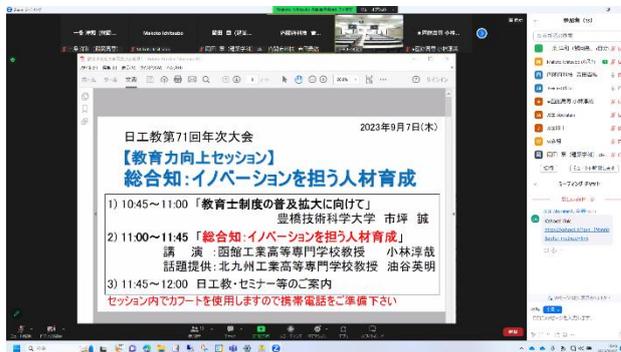
● 録画発表

録画登壇専用サイトが設けられ、期間中にアクセスすることにより発表動画の閲覧およびコメントのやり取りを行うことができた。「パワーエレクトロニクス実験における多機能実験ツールの活用」というテーマで発表を行った。本校 4 年生のパワーエレクトロニクス実験において、多機能実験ツール(1 つのデバイスに信号発生器や波形観測装置などの測定機器が搭載され、パソコンで制御できる装置)の導入により、省スペース化・自動化・時間短縮に取り組んだ事例を報告した。約 15 分の発表動画を作成した。視聴者から、短縮した時間をどのように活用しているのかという質問を受けたため、レポートの作成や考察の充実のために時間をあてることを想定していると説明した。

● オンライン参加プログラム

プログラムの中で 1 つのセッションがハイブリッド形式で開催されたため、リアルタイムで参加できた。参加した時の様子を写真に示す。

講演の中で、Kahoot!という Web アプリが紹介された。授業中にクイズを出し、リアルタイムで回答結果を集計したり表示したりできるもので、参加者を対象に実演も行われた。回答結果に投票する機能も実装しており、教育効果を高めるとても良いツールであると感じた。



写真：オンラインセッションの様子

4. おわりに

録画登壇という形式の発表を初めて経験した。対面形式と比べると聞いてもらっているという実感は少ないが、コメントで質問を受け取ったときには時間を取って回答を準備できることにメリットを感じた。今後もこうした機会を活用して技術力および教育力の向上に努めていきたい。